



釧路港国際物流ターミナル整備事業

東北北海道の酪農生産基盤を強化する釧路港

現在 now



将来 future

インフラ



西港区 第2埠頭 岸壁 (水深1.2m)

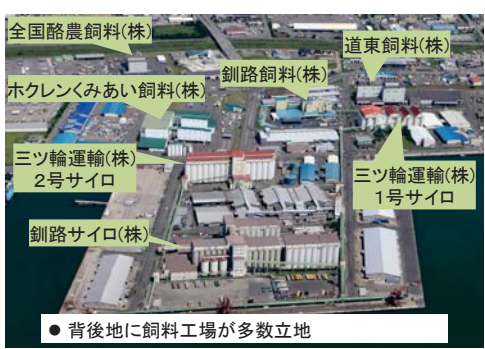
岸壁水深 1.4m
荷役機械等を整備



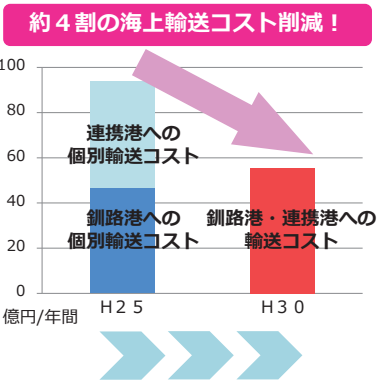
〈企業の声〉
ニーズの高まりや、運搬コストの削減、国際バルク港整備を踏まえサイロの増設を決めました。

平成30年利用開始予定

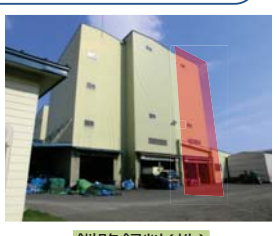
地域



● 背後地に飼料工場が多数立地



ミツ輪運輸(株) 2号サイロ
1.4基増設



釧路飼料(株)
2.8基増設

供給能力の増強

大型船が入港可能な岸壁整備により、**飼料原料の海上輸送コストを削減**

飼料原料の輸送コストの削減や**企業のサイロ増設等により、安定的かつ安価な供給体制が構築**

これにより、**酪農家の経営改善及び生産力向上が期待**

東北北海道の牛乳工場



釧路港